

聖霊降臨後第20主日特禱（特定22）

主よ、主の家族である教会を、絶えることのない恵みのうちにお守りください。どうか主の守りによってすべての災いを免れ、良い行いをもって熱心に主に仕え、み名の栄光を現すことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

旧約聖書 創世記 2章18-24節

2:18 また、神である主は言われた。「人が独りでいるのは良くない。彼にふさわしい助け手を造ろう。」19 神である主は、あらゆる野の獣、あらゆる空の鳥を土で形づくり、人のところへ連れて来られた。人がそれぞれをどのように名付けるか見るためであった。人が生き物それぞれに名を付けると、それがすべて生き物の名となった。20 人はあらゆる家畜、空の鳥、あらゆる野の獣に名を付けた。しかし、自分にふさわしい助け手は見つけることができなかった。21 そこで、神である主は人を深い眠りに落とされた。人が眠り込むと、そのあばら骨の一つを取り、そこを肉で閉ざされた。22 神である主は、人から取ったあばら骨で女を造り上げ、人のところへ連れて来られた。23 人は言った。「これこそ、私の骨の骨、肉の肉。これを女と名付けよう。これは男から取られたからである。」24 こういうわけで、男は父母を離れて妻と結ばれ、二人は一体となる。

詩 編 第8編

- 1 わたしたちの主、神よ、み名はあまねく世界に輝き // その栄光は天にそびえる
- 2 幼子と乳飲み子は賛美を歌う // 刃向かう者、逆らう者を鎮めるため、あなたは敵に備えて砦を築かれた
- 3 あなたの指の業の大空を仰ぎ // あなたがちりばめた月と星を眺めて思う
- 4 人とは何者か、なぜ、これにみ心を留められるのか // なぜ、人の子を顧みられるのか
- 5 あなたは人を神に近いものにし // 栄えと誉れの冠を授け
- 6 み手の業を治めさせ // すべてをその足もとに置かれた
- 7 羊も牛も、野の獣もことごとく // 空の鳥、潮路を泳ぐ魚の群れも
- 8 わたしたちの主、神よ // み名はあまねく世界に輝く

使徒書 ヘブライ人への手紙 2章《1-8》、9-18節

《2:1 だから、私たちは押し流されないように、聞いたことにいっそう注意を払わなければなりません。2 天使たちを通して語られた言葉が確かなものとなり、あらゆる違反や不従順が当然の報いを受けたとすれば、3 私たちは、これほど大きな救いを

ないがしろにして、どうして報いを逃れることができましょう。この救いは、主が最初に語られ、それを聞いた人々が私たちに確かなものとして示しました。4 さらに神も、しるし、不思議な業、さまざまな奇跡により、また、御心に従い聖霊の賜物を分け与えることによって、証ししておられます。5 神は、私たちが語っている来るべき世界を、天使たちに従わせることはなさらなかったのです。6 ある箇所では、こう証しされています。「人とは何者なのか、あなたが心に留めてくださるとは。また、人の子とは何者なのか、あなたが顧みてくださるとは。7 あなたは彼を僅かの間、天使たちよりも劣る者とし、栄光と誉れの冠を授け 8 万物をその足元に従わせられました。」「万物を彼に従わせられた」と言われている以上、この方に従わないものは何も残っていないはずですが、しかし、私たちはいまだに、万物がこの方に従っている状態を見ていません。》

9 ただ、「僅かの間、天使より劣る者とされた」イエスが、死の苦しみのゆえに、「栄光と誉れの冠を授けられた」のを見えています。神の恵みによって、すべての人のために死を味わわれたのです。10 というのは、多くの子たちを栄光へと導くために、彼らの救いの導き手を数々の苦しみを通して完全な者とされたのは、万物の存在の目標であり源である方に、ふさわしいことであったからです。11 実際、聖とする方も、聖とされる人たちも、すべて一つの源から出ているのです。それゆえ、イエスは彼らをきょうだいと呼ぶことを恥としないで、12 「私は、きょうだいたちに、あなたの名を告げ知らせ、集会の中であなたを賛美しよう」と言い、13 また、「私は神に信頼する」と言い、さらにまた、「見よ、私と神が私に与えてくださった子たちがいます」と言われます。14 そこで、子たちは皆血と肉とを持っているので、イエスもまた同じように、これらのものをお持ちになりました。それは、ご自分の死によって、死の力を持つ者、つまり悪魔を無力にし、15 死の恐怖のために一生涯、奴隷となっていた人々を解放されるためでした。16 確かに、イエスは天使たちを助けるのではなく、アブラハムの子孫を助けられるのです。17 それで、イエスは、神の前で憐れみ深い、忠実な大祭司となって、民の罪を宥めるために、あらゆる点できょうだいたちと同じようにならなければなりません。18 事実、ご自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人々を助けることができになるのです。

福音書 マルコによる福音書 10章2－9節

10:2 ファリサイ派の人々が近寄って、「夫が妻を離縁することは許されているでしょうか」と尋ねた。イエスを試そうとしたのである。3 イエスは、「モーセはあなたがたに何と命じたか」と問い返された。4 彼らは、「モーセは、離縁状を書いて離縁することを許しました」と言った。5 イエスは言われた。「あなたがたの心がかたくななので、モーセはこのような戒めを書いたのだ。6 しかし、天地創造の初めから、神は人を男と女とにお造りになった。7 こういうわけで、人は父母を離れて妻と結ばれ、8 二人は一体となる。だから、もはや二人ではなく、一体である。9 従って、

神が結び合わせてくださったものを、人は離してはならない。」